

西南中

三世代交流事業は公益社団法人  
JKKAの「地域ふれあい交流活  
動補助事業」の支援を受けて実  
施しています。



RING!RING!  
プロジェクト  
オーレスの活動事業

# 和太鼓だより

2015/11/10 発行

今年の和太鼓学習も、11月7日の文化祭での発表をもって終了しました。

中学生が和太鼓学習を振り返って思いを書きました。



## 和太鼓 学習を

## 振り返って

僕はすごく和太鼓が楽しみです。最初の頃は全然腕もあがって  
なかったし、声も全然出ていなかったけど、太鼓をやっていくなか  
で、思い切ってできるようになりました。今福さんと一緒に打つと、  
すごく思い切って打てて、すごく気持ちよいです。音楽会は終わっ  
たけど、まだ思い切ってたたけていないので、これからもがんばっ  
てやっていきたいです。太鼓をやって、なんか自分が変わったよう  
な気がします。

去年とは違う要素をたくさん入れて演技するのが楽しかったで  
す。太鼓はおもしろい、そんな考えができてよかったです。これか  
ら和太鼓で学んだことを生かしていきたいです。





私は最初、「和太鼓は大きな声を出さないといけないから恥ずかしいな」、「ちゃんと腕があがるかな」と、不安ばかりでした。頑張って大きな声は出すことができたけれど、腕はなかなかあがりませんでした。何度も注意されたけれど、なかなか上手にはなりません。自主練習したこともありましたが。すると、今福さんが「腕があがってきたなあ〜」と、ほめてくださいました。私は、「もっとがんばるぞ〜」という気持ちになってきました。

今福さんは、いつも笑顔で話しかけてくださいます。すると自分たちも笑顔になれます。私が和太鼓をとおして思ったことは、笑顔も大切だということです。今福さんはいつも笑顔でみんなに幸せを届けていると思いました。私も笑顔でみんなを幸せにすることができるようになりたいです。来年もがんばります。



保育園以来の和太鼓だったので、初めは全く声も出なかったし、腕もあがりませんでした。初めのころは、今福さんに言われないと声を出さなかったけど、今では自分から大きい声を出すことができるようになりました。今福さんには内緒で、腕をあげる練習などをしました。その次の練習では、「腕があがるようになったじゃないか！！」と言ってもらえたので、すごくうれしかったです。

楽しんで太鼓をたたくために、いろいろなアイデアを考えてくださった時に、「私たちのためにこんな一生懸命頑張ってくれているんだ」と気づきました。休憩時にはブラジルの話などをしてくださって、とても楽しかったです。

今福さんが太鼓をたたいている姿や歌っている姿がとてもかっこよくて、私の今福さんみたいに、「かっこいいな」「すごいな」と思われるような人になりたいと思います。和太鼓で鍛えた『根性』を、これからも生かして生活していきたいです。そして来年も頑張ります。





初めは、今福さんから「もっと声を出そう」、「腕をもっとあげて」など言われて、「なんでそんな事しなくちゃいけないんだろう」と思いました。特に私は、一番右はしだったので、声を出すときいつも一番だったので、とてもいやでした。でも、声を出しているうちに、声を出すことに慣れたので、「これは和太鼓のおかげだな」と思いました。

次に腕をのぼすことができなかつたので、1年だけで腕をのぼすための練習をしました。私は、「別に腕をまっすぐのぼさなくたっていいじゃん」と思っていました。でも練習をした後、「手をまっすぐに伸ばして太鼓をたたくのはとてもかっこいいし、みんなの腕がそろるのが感動した」と思いました。私はこれまで和太鼓をして、みんなと気持ちを合わせることのすごさを知ることができてよかったです。

去年、ひじが全然のびていないと注意されて、そこをなおすように頑張りました。自分では伸ばしているつもりでも、まわりの人から見ると全然のびていないように見えるので、自分が思っている以上に伸ばすようにしました。まだまだ伸びていなかったけど、「去年よりよかったよ」と、たくさんの人に言われたのでよかったです。

一人でソロをたたくときは、ものすごくプレッシャーがあったけど、うまく演奏ができたのでよかったです。今年は「しめ」をやることになって、けっこう不安でした。練習の時、みんなと合わなかったり、途中で止まったりして、なかなかうまくいきませんでした。昼休みに男子に練習を手伝ってもらったりして、とにかくたくさん練習しました。本番はとまることなく最後までできたのでよかったです。

今福さんにたくさんアドバイスをいただきながら練習してきました。不安な気持ちで始まった和太鼓だったけど、「今年が一番よかった」という声をきいてとてもうれしかったです。こんな演奏ができたのも今福さんのおかげなので、今福さんに感謝したいです。





私は和太鼓を始めてすぐの時は、少しだけ「めんどくさい」「恥ずかしい」と感じていました。普段あまり出さない大声をだしたり、腕を高くあげたりするのは大変で、終わった後は疲労感が残りませんでした。でも、いつ見ても、今福さんは生き生きして、太鼓をたたく姿は真剣そのものでした。いつしか「恥ずかしい」という感情はなくなり、声もしっかりと出せるようになりました。

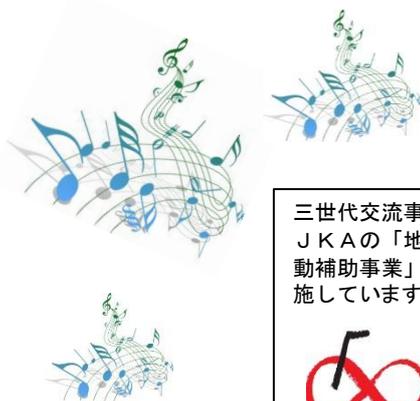
2年生になって、和太鼓のリーダーになり、一人でたたくところがあるので、責任感を感じていたとき、今福さんのある言葉を思い出しました。「自分の殻を破れ」。きれいに見せようとするのではなく、自分の本当の力を見せることで、見ている人を感動させることができる。ふるさと祭りでも、音楽会でも力を出しました。終わった後に疲労感を残らず、ただ「やりきった」という思いが残りました。和太鼓のおかげで自分の殻を破り、変わることができたと思えます。

今年は和太鼓のリーダーをだれがやるのか気になりました。和太鼓のリーダーを由美子さんがしっかりやってくれてよかったです。「しめ」も、明香さんと陽水くんがちゃんとやってくれてよかったです。自分はソコのところで大太鼓をちゃんとたたくことができるか不安でした。今福さんにたくさんアドバイスをいただきました。そして、練習を重ねていくうちにたたくことができるようになりました。大太鼓ではない太鼓も、去年よりしっかりたたくことができました。腕ものぼすことができました。

ふるさと祭り、音楽会では間違えたところもありました。音楽会はテンポが速くならなくてよかったです。どの発表の場でも楽しくたたけたと思います。



2015/10/15



三世代交流事業は公益社団法人  
JK Aの「地域ふれあい交流活  
動補助事業」の支援を受けて実  
施しています。

 RING!RING!  
プロジェクト  
オートレースの補助事業